

「じんけん」ぽん

(2009.01/ NO.57)



【発行】 社会福祉法人 生活クラブ 柏市地域生活支援センターあいネット
 〒277-0005 柏市柏5-2-17 TEL 04-7165-8707 FAX 04-7165-8709
 HP. <http://homepage2.nifty.com/ai-net/> ML. bch13362@nifty.com

<ひとこと> 今年はきっといいことがあります。健康第一に過ごしましょう。

第4回あいネット運営委員会開催

第1回以後はいつもテーマを決め、各委員からそれぞれの活動紹介を含んでお願いしています。

今回は「地域生活と事業(活動)」全てに「地域生活と〇〇」と冠のように付けている「地域生活」。

地域といってもいろいろに定義されそうですが、「地域プラス生活」は、その本人の普段の生活圏とシンプルに考えているものです。

報告者は

- ① 社会福祉法人彩会 平山隆さん
- ② 社会福祉法人高柳会 わかたけ社会センター 外山義哉さん
- ③ 民生委員児童委員協議会 中谷茂章さん
- ④ 柏市非営利団体連絡会 堀田きみさん

(↓)

あけましておめでとう
 がんばります

昨年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしく

おねがいたします。



永桶静佳
 塩原泰輔
 青柳美代子
 佐々木誠子

地域でルート〜ク



仕事で難しい問題が起こったとき、職場の上司や先輩、同僚に相談をする事が大切だ。といわれる。だが、そのためには普段から良い人間関係やコミュニケーションがなければよい相談はできない。

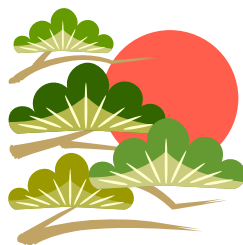
私は職場の中で「まじめな雑談」をするように心がけている。もちろん、問題解決に向けて深く考えることも必要だが、広い視野で考えたり、思わぬ発想が出てくる良いきっかけになると考えている。そう考えると「まじめな雑談」は、身近な相談者を増やし、新たな考えを聞けるチャンスにもなり得る。

「まじめな雑談」をするように心がけ 第8走者

では、家庭ではどうか。

私の場合、家庭での身近な相談者は、妻と子どもであると思われているが、私自身が妻と子どもの身近な相談者になっているかといえば、はなはだ心もとない。

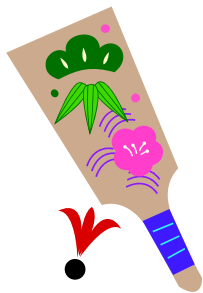
もうすぐ4才になる息子が、私の会話を耳を傾け、彼なりにアドバイスをしようとする姿勢をみると、もう少し話を聞かなければと反省する日々なのです。



柏市立青和園

野村 聡

活動振りです。委員同士でお互いの活動をどう活用できるかと真剣に聞きあっているのがうれしい成果です。



■運営委員会

～年間予定表～

- 1) 08年6月18日
- 2) 08年8月20日
- 3) 08年10月15日
- 4) 08年12月17日
- 5) 09年2月18日

第8回 地域生活支援フォーラム千葉

誰もがその人らしく地域で暮らすために

昨年十二月七日、千葉市生涯学習センターにて行われました。毎日新聞の野沢和弘さんの基調講演から始まり、知事の講演、地域自立支援協議会の実際についてのシンポジウムなど、盛り沢山の内容でした。

野沢さんの講演では、障害者自立支援法の今後について以下のようなお話がありました。(当日の講演資料、メモより)

フォーラム全体のキーワードは「グループホーム」「相談

今月の一句

除夜の鐘
 煩惱の多さ
 省みる
 涼風



(みなさまからの投稿募集しています)

支援事業「自立支援協議会」
 ひとつひとつの課題に向き合って、積み上げていくことの大切さを感じました。

現実にどうなるか?

- 応益負担維持
- 日割り単価維持
- (学齢期以降の)児童デイは廃止
- (就労継続支援)B型は解体
- 区分は維持
- 障害定義、発達障害・高次脳機能障害含まれる
- 就労(学生の夏休み利用検討)

(野沢氏講演の際に取った私のメモより)



柏駅東口より柏市役所方面
 徒歩6分



上段左(堂本知事)

上段右 シンポジウム「地域自立支援協議会と相談支援事業所を生かす」(左から、細瀬氏、曾根氏、県障害福祉課長、県内5市担当者)

右(寸劇)右から二人目、自閉症協会 白水氏、「あくと・くグループホーム」の経営者を熱演。サングラスと白のスーツが、妙に似合っていました(笑)



グループホーム見学会

通所施設職員さん、利用者さんとともにグループホーム見学を行いました。

これまで「自宅での生活が困難…」など切羽詰ったかたちでのGHの見学・体験などでの訪問ばかりでしたが、今回このような「社会科見学的」な訪問は初めてで、「グループホームって?どんなところですか?」という本人の質問に答えるためにも、今後もこのような試みが大切だと感じました。実際にホームさんに連絡をする際に、「何て言っているのやら?」と悩みましたが、市内2つのホームさんが協力をしてくださり、見学会に参加した方々は喜んでおられました。

かたつむりハウスさん

わかたけ社会センターGHさん

ありがとうございました。

思春期講演会 思春期・青年期のこころのSOS

千葉市文化センターで、思春期講演会が開催されました。齊藤万比古先生(国立国際医療センター国府台病院 第二病棟部長)のお話を聞きました。先生の話の中では、思春期の前半の課題としては母離れであること、甘えたい気持ちと子ども扱いしないで欲しいという2つの矛盾した気持ちが存在すること。思春期後半の課題としては、自分探し、自分づくりで、外の環境(友人、学校等)に対して社会に適応したいが、本当の自分を守りたいという2つの矛盾した気持ちが存在すること。

主催 千葉県精神保健福祉センター

それとどう向き合っていくかによってかわってくるということでした。思春期・青年期の危機は、「親離れの臨界期における親子関係の危機」、「自分探し・自分作り過程の危機」、「親離れの推進力たる仲間関係の危機」、「思春期・青年期の生物学的危機」に分類しているとのこと。印象的だったのは、世話のかからない良い子を育てるのは環境に過剰適応しどこかで無理が出てしまう結果になるということがわかり、その年齢に応じた葛藤が出てそれに気がつき、どう解決していくかが大切ということがわかりました。

おしらせ ◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(04-7165-8707)までご連絡ください◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆ ちば男女共同参画フォーラム 2009 チャレンジ!つなげよう みんなの願いを フリートーク「みんなで拓く 希望社会」 ～千葉県の活動事例を交えて～ 堂本 暁子氏(千葉県知事) 宮本 みち子氏(放送大学教授) 対談 吉武 輝子氏(作家・評論家) 吉永 みち子氏(作家・ルポライター)	1月25日(日) 13:00 ～16:00 (11:30開場)	習志野文化ホール (JR津田沼駅南口前777 4階) JR津田沼駅南口から徒歩3分 新京成線・新津田沼駅から徒歩8分	500円 (資料代) 託児あり 12:45～16:15 (2歳以上1名につき1000円。兄弟姉妹2人目から半額、〆切1月18日 定員20人)	口座へ枚数ご記入のうえ、参加券代金をお振込みください。参加券は、当日受付にて、払込金受領書と引き換えになります。	ちば菜の花会事務局 でんわ/FAX 047(451)9825 ウェブページ http://nanohanakai.web.fc2.com/ 費用振込み先 郵便振替 加入者名 ちば菜の花会 口座番号 00170-2-426037 ※参加券は習志野文化ホールでも取り扱っています。
◆ 子どもの人権を守り、子ども虐待防止を考える フォーラム IN 柏 基調講演 講演者 小谷川 元一氏 (東京福祉大学・大学院准教授) テーマ 子ども虐待を防ぐ～「共育」のすすめ～ 吹奏楽コンサート 演奏 柏市立酒井根中学校 吹奏楽部 曲目 「崖の上のポニョ、千の風になって、one love、他」	1月31日(土) 13:00 ～16:00 (12:30開場)	沼南公民館大ホール (柏市大島田 440-1) 〇バス 東武バスで柏駅東口 4番乗り場より、阪東バスで柏駅東口 5番乗り場より、柏コミュニティバス・かしわ乗り合いジャンボタクシーで行けます。 ※車は駐車場が少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。	無料 500名 (申込先着順)	FAXまたははがきで、申込「フォーラム希望」氏名(フリガナ)・郵便番号、住所、でんわ(FAX)、託児希望は、子どもの年齢と利用人数明記 1月15日必着	申込先(事務局) 柏市児童育成課家庭児童相談室 〒277-8505(住所省略可) でんわ 04(7167)1111 内線 652 FAX 04(7167)1383 主催:千葉県柏市児童相談所 柏市要保護児童対策地域協議会
◆ Holiday In The Sun ステージの部 利用者・職員による歌や踊り、手品の発表 ホリデーパソコン教室絵画展	1月18日(日) 14:30 ～15:30 (14:00開場)	柏たんぽぽホール	無料	不要	特定非営利活動法人ホリデー グリーングリーン(担当者:小山) でんわ 04(7152)0195 ※ホリデーは、ハンディを持った方の外出支援、地域活動支援センター、福祉作業所などの事業を運営しています。
◆ 平成20年度 在宅がん緩和ケアフォーラム ～がんでも、安心して家で過ごせるまちづくり～ 基調講演「いのちの話ーあなたを家で看取りたいー」 講師 内藤 いづみ氏(ふじ内科クリニック院長) パネルディスカッション 「がんでも、安心して家で過ごせるまちづくり」 パネリスト 土橋正彦氏(市川市医師会会長)、野本靖史氏(船橋市立医療センター呼吸器外科副本部長)、泉山明美氏(訪問看護ステーションゆうこう所長)、杉田勝氏(船橋梨香園在宅介護支援センター所長)、藤村智子氏(NPO法人「ピュア」会員)、コメンテーター渡辺敏氏(千葉県がんセンター緩和医療課部長)、コーディネーター藤田敦子氏(NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア代表)	2月1日(日) 13:00 ～16:30 (開場 12:00)	船橋市勤労市民センターホール 船橋市本町 4-19-6 JR船橋駅徒歩約5分 京成船橋駅徒歩約3分	無料 350名 (先着順)	必要 ※申込代表者氏名、〒番号、住所、職業、FAX番号、同伴者名、参加人数を記入の上、往復はがき、 FAX、メールで申込	問い合わせ 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 在宅がん緩和ケアフォーラム係 でんわ 043(223)2686 申込先 〒273-0853 船橋市金杉 7-40-3 NPO法人「ピュア」フォーラム係り でんわ 070(5554)3734 FAX 047(448)7689 メール pure-jime@wind.sannet.ne.jp